

今年もよろしくお祈いします

早々、年始の挨拶をするのも憚られるほどの災害と事故が起き、重くつらいスタートとなってしまいました。被害を受けられた方や犠牲になられた方のことを思うと悲しく切なくいたたまれない気持ちになります。今はまだ気持ちを切り替えるのも難しいところではありますが、こういう時こそ、一旦立ち止まって、自分にできることは何かを考えて、行動していくことが大切です。

さて、2024年(令和6年)が始まりました。学校は3学期、1年の総まとめの学期になります。高尾の子どもたちも、それぞれ卒業、進級という節目に向けて、ラストスパートとなります。学校行事も、1月26日(金)に3年ぶりのスキー教室、2月28日(水)に6年生送る会、3月9日(土)にはふるさと学習発表会とにこにこ寄席卒業公演(同日開催)と続きます。

私たちスタッフも、ゴールに向けてがんばる子どもたちをしっかりと支えていきたいと思ひます。保護者のみなさん、高尾のみなさん、本年も高尾っ子の応援をどうかよろしくお祈いいたします。



110番の日 高尾っ子雲南警察署一日署長就任 1月10日(水)

1月10日は「110番の日」。夏のにこにこ寄席を見にきてくださった雲南警察署の方から声をかけていただき、この度、子どもたちが雲南署の一日署長に任命されました。



当日の朝、迎えに来ていただき、警察署の署長室で任命書を手渡され、署員の皆さんを前に、夕夏さんが訓示(?)、大喜利を披露しました。そのあとは、交流施設「ほほ笑み」に移動し、落語を披露、近くのショッピングセンターで防犯チラシの配布をして、半日でしたが、署長という大役を果たしました。



制服を着させてもらったり、パトカーに乗せてもらったりもして、なかなかできない経験をさせてもらいました。たくさんの取材に圧倒され気味でしたが、夕夏さんが6年生として、しっかり受け答えをしてくれました。高尾小の頼れるリーダーです。



校内書き初め会 1月11日(木)



冬休みに練習してきた成果を試す校内書き初め会を行いました。1人1人がめあてをもって2時間集中して取り組みました。納得いく筆の運びもあれば、そうでないものもあったと思いますが、みんな一生懸命取り組んで、立派な作品を書き上げることができました。仕上げた作品の中から、教室掲示用、三成公民館展示用、書き初め展出品用を選んで、展示や出品をします。展示用は、学校や三成公民館で掲示しますので、よろしければご覧いただければと思ひます。



島根県教育委員会教育長賞受賞～みどりを守る作文コンクール～

今年のみどりを守る作文コンクールで、渡部夕夏さんの作文が島根県教育委員会教育長賞に選ばれました。夏休みの課題の一つとして書いた作文で、日頃から目の前にある山や自然とかかわる夕夏さんや家族の姿が丁寧に綴られています。夕夏さんのふるさと高尾への思いや愛情が染み込んでくるように伝わってきて、読んでいると嬉しくなってきました。下欄に載せていますので、ぜひご一読ください。



1・2月の行事予定

1月22日(月)	児童集会	9日(金)	にこにこ発表会(クローバー)
23日(火)	ぐんぐんタイム	10日(土)	仁多中一日入学(青葉)
24日(水)	フッ化物洗口 集金袋配布日 町教委学校訪問	11日(日)	建国記念の日
25日(木)	ドロップ ALT	12日(月)	振替休日
26日(金)	親子スキー教室(琴引フォレストパーク)	13日(火)	ぐんぐんタイム(漢字)
28日(日)	出張寄席(荒島交流センター)	14日(水)	フッ化物洗口 学習公開日・学級懇談
30日(火)	ぐんぐんタイム	15日(木)	ドロップ ALT
31日(水)	フッ化物洗口 クラブ(宮森先生)	16日(金)	全校スピーチ
2月1日(木)	トロッコ 体重測定 ALT	19日(月)	児童集会
2日(金)	全校スピーチ	20日(火)	ぐんぐんタイム
5日(月)	全校朝礼	21日(水)	フッ化物洗口 クラブ(宮森先生)
6日(火)	ぐんぐんタイム スーパーホッケー交流会(6年)	22日(木)	教員読み語り ALT
7日(水)	出張寄席(十神交流センター) フッ化物洗口 クラブ 生活習慣チャレンジ週間(~13日)	23日(金)	天皇誕生日
8日(木)	馬木民話クラブ ALT	26日(月)	全校朝礼 集金袋配布日
		27日(火)	ぐんぐんタイム
		28日(水)	フッ化物洗口 6年生を送る会
		29日(木)	トロッコ ALT

山と私たちの生活 六年 渡部 夕夏

豊かな自然と共に生きていく高尾。私はその高尾が好きです。私のお父さんは、仁多郡森林組合で働いています。小さい頃からお父さんと一緒に山に行っています。高尾の山には、猿やイノシシ、熊、テンなどの動物、はちやムカデ、ぶゆなどの虫、コナラやうるし、楓などの植物がひっそりと生活しています。また、高尾の山から流れるきれいな水を使っておられるお米はともおいしんです。そんな高尾の自然をみてみると、本当に豊かだと思ひます。

お父さんは高尾の山を守り、育てる仕事をしています。山の木は増えすぎても減りすぎてもいけません。増えすぎると、他の植物に日光が届かなくなるし、減りすぎると生き物たちは生活することが出来なくなりす。豊かな自然を守るためには古い木を「伐採」して、新しい木を植える「植え付け」する仕事が大切です。山の木を伐採する仕事は、チェーンソーを使って木を切ったり、切った木材など重たいものを持つたり、重機を使ったりする大変な仕事です。植え付けの仕事では畑で木を育てた後、山に植え付けをして、その後、何年もかけて木が育っていくのを管理していきます。とても根気のいる仕事だと思ひます。だから高尾の自然を守るためにがんばるお父さんはすごいと思ひました。そして私も高尾の自然を守りたいと思ひました。

高尾の山は、私たちの生活になくてはならないものだと感じることもあります。私の家では、お米を作っています。高尾の仁多米です。私の小学校でも私の家の田んぼを使って、お米を育てています。高尾のお米の美味しさの秘密を探るため、総合の学習で、お米を育てる時に使っている水がどこから来ているのかを調べました。田んぼの水路をたどって、どどん歩いていくと山に着きました。私の家の田んぼの水は山から直接流れてくる水ということがわかりました。高尾の山から流れるきれいな水がお米の美味しさの秘密で、このきれいな水を作りだしてくれているのが高尾の山なんだと思ひました。

また、私の妹は授業で私のおじさんとおばあさんと一緒に、山に笹を取りに行つて笹巻きを作りました。私も笹巻きを作るのを手伝いました。高尾の笹巻きは、おもちに笹の太い枝をさして、はだごをかぶせて三枚の笹の葉を巻き、ゆでて作ります。笹を上手にまくのは難しかったけど、きれいにできたら、みんなでおいしく食べることができました。高尾では、昔から山からとれる笹を使って、笹巻きを作っていました。高尾に住む人は昔から山と一緒に生活してきたんだと思ひました。

山と私たちの家族との生活は山と深いかわりがあります。お父さんの仕事やお米、ささまきなどたくさん私たちに幸せをくれます。そんな高尾の山を私はいつまでも大切にしたいと思ひます。